



子どもに健康的な保育園を

フィンランド北部の都市オウルのヒーロネン地区に子どもの福祉全般に焦点をあてた健康的な保育園がオープンしました。ヒールライセンクヤ保育園は、園内で過ごす子どもたちがきれいな空気に囲まれて生活できるように建設されました。子どもを持つ家族から、このような保育サービスの需要が高まっています。

ヒールライセンクヤ保育園のオーナー、ミンナ・ヴィルムネンはオウル地域に保育園をすでに3園持っています。幼稚園教諭でもあるヴィルムネンにとって、保育園に加え、公共施設の室内空気の問題については、いつも残念に思っていました。子どもたちは一日のうち多くの時間を保育園で過ごすため、きれいな室内空気を子どもたちに提供できるログ材による保育園を建てるということは、非常に重要なことです。

オウル市の協力で、健康的な保育園のためにふさわしい緑豊かな土地がヒーロネン地区にみつかったことから、保育園建設が実現しました。居心地の良い周辺環境と自然環境が保育園の園庭に落ち着きを与えます。ヒールライセンクヤ保育園は、ヒーロネン地区の住民に加え、カーククリとカウコヴァイノ地区の子どもたちも預かります。穏やかなこの地区は、オウル市中心部からもわずか数分という交通の便も非常に良いところに位置します。

ヒールライセンクヤ保育園は580平米で、乳児からプレスクールまで4段階の年齢の子どもたちのクラスがあります。子どもの兄弟姉妹のためのクラスも用意しています。定員は約75名。モンテッソーリ教育に基づいて保育が行われ、語学クラブや自然教育も課程に入れられています。積極的な教育課程と安全な環境は、きれいな室内空気に加えて、子どもたちの発達や福祉にも大切な要素となります。

健康的な保育園の中心にはフィンランド産のログ

ヒールライネン保育園は、PEFC証明を獲得したフィンランド産の木材で建てられています。ログ建築物は、天候にも関わらず室内空気は清潔で、湿度が一定に保たれるという研究結果があります。天然木であるログ壁により、蒸気は空気と壁の間を自由に行き来することができ、室内空気の湿度が一定に保たれることで、ログ建築物の室内にいると呼吸が楽になるのです。室内湿度が30-55%の時に、室内空気を害するカビや細菌の成長が抑えられます。ログ建築は、アレルギーや喘息を患う方たちにとっても安全な住環境であるのです。

以上のようなログ建築の利点により、住宅建築にログを選ぶ人はこれまでも多くいましたが、これからは住宅以外の建築物の需要も高まっています。アレルギー・喘息協会の研究によると、フィンランド人の50%が何らかのアレルギーを患ったことがあるという結果があります。また、深刻な呼吸器障害を患う人は3%です。特にカビが原因のアレルギーの場合、より重要なのはアレルギーのことをきちんと考慮された建材を正しく使って住宅が建てられたかです。

「アレルギー患者が家を建てるときには、計画の時点で建材や建築方法の詳細や順序などについても注意を払う必要があります。もちろん、施工中は計画通りに進めることも重要です。さらに、住人がアレルギーの原因について注意をし、アレルギーを起こさないようにする住み方を学ぶ必要があります。」とアレルギー・喘息協会室内空気向上情報室の室長トゥーラ・シュルヤネンは述べています。

最近の研究では、インテリアの材料として木材が使われた場合、ストレスが軽減する、あるいは睡眠の質が向上するといった自然環境にいるのと同じような効果があるという結果が出ています。木造建築の環境にすることで、たとえば血圧をおさえる、心拍数を減少させ落ち着かせるといったことにもつながります。

幼稚園プロジェクトの質を支えるのは、信頼できるフィンランド製品

ヒールライセンクヤ保育園のログ材を供給し、施工を担当したホンカラケンネは、「ヘルシーホーム」コンセプトの家の開発をアレルギー・喘息協会およびVTT(フィンランド技術研究センター)との共同で行っています。ホンカラケンネは、ヒールライセンクヤ保育園のような健康と安全が求められる建築物を提供するパイオニアとしても知られています。ホンカラケンネは、健康的な保育園をフィンランド国内だけではなく、海外でも建築しています。ホンカラケンネの建築技術は、公機関にて検査され、安全にも定評があります。

「健康や福祉は、建築業界で今重要なトレンドとなっています。ホンカラケンネは、これまでも長い間健康的な建築物を実現してきました。ホンカは、アレルギーフリーのログを使用できる唯一のログハウスメーカーです。」ホンカラケンネ社長ミッコ・キルピネンが述べています。

